

JAFSA 公式WEB限定公開

EAIE2024 トゥールーズ大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体様アンケート集計結果

回答：ブース出展 16団体中16団体(回答率：100%)※JASSO除く

◎大会終了後(2024年10月)にWEBアンケートを実施。

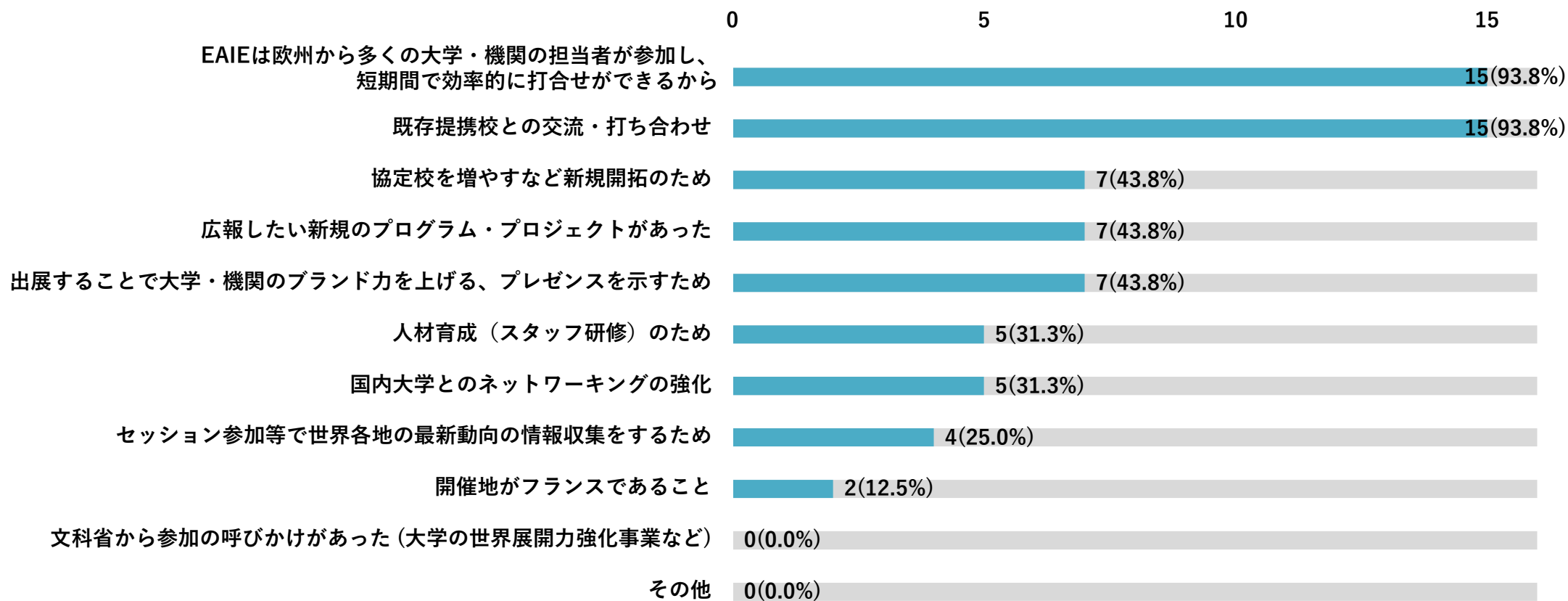
◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

1

EAIE2024 トゥールーズ大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由（複数選択可）

回答数=16

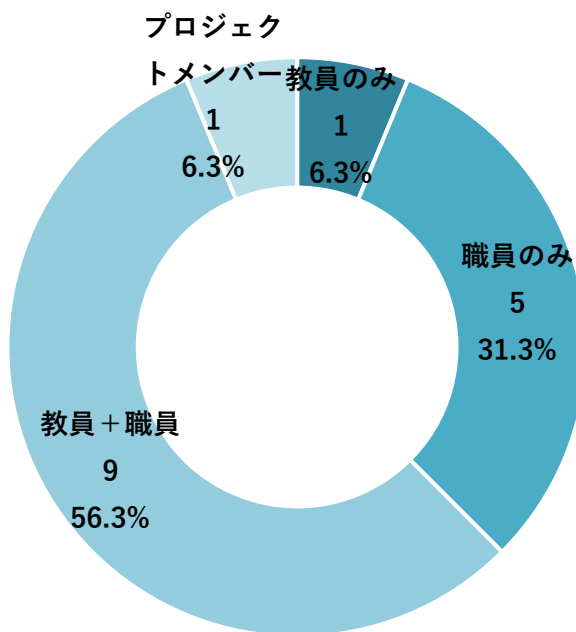


2

ブース対応の大会参加者について伺います。

2-1. 参加者カテゴリー（複数選択可）

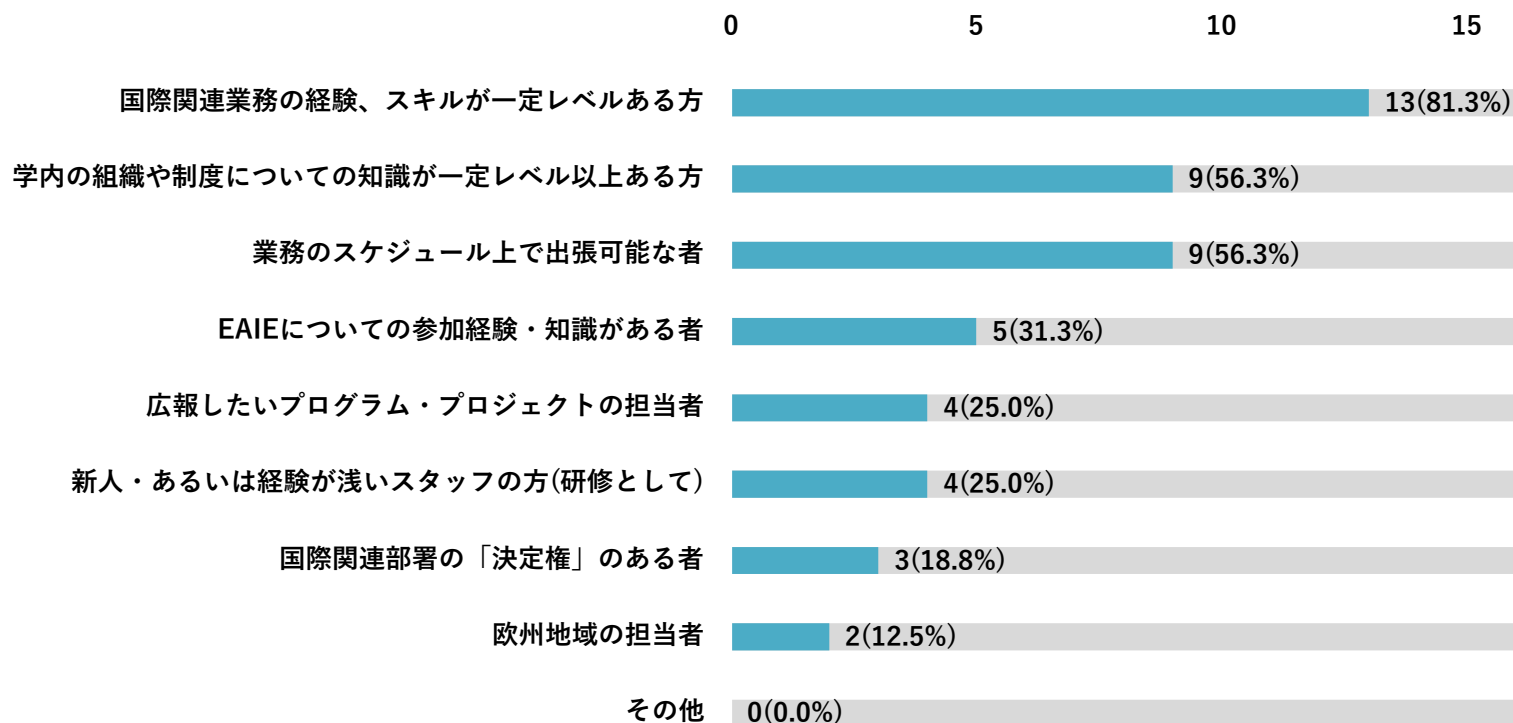
回答数=16



※複数回答可としていたが、単一回答のみのため円グラフにて集計

2-2. 参加者選出の基準（複数選択可）

回答数=16

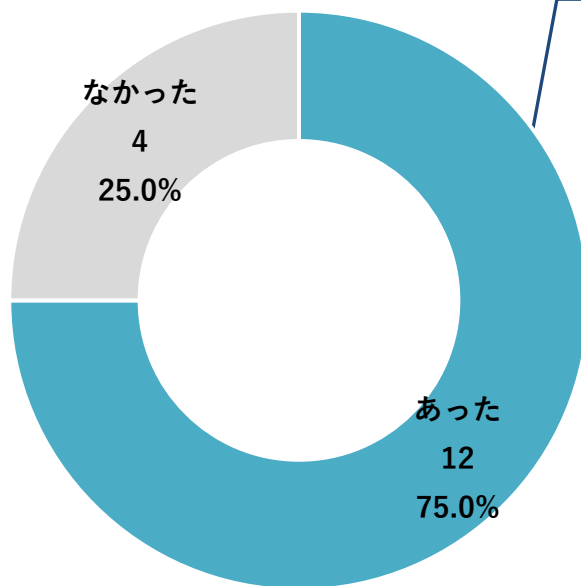


3

今回のEAIE2024トゥールーズ大会の出展参加について、 昨今の円安やインフレの影響はありましたか。

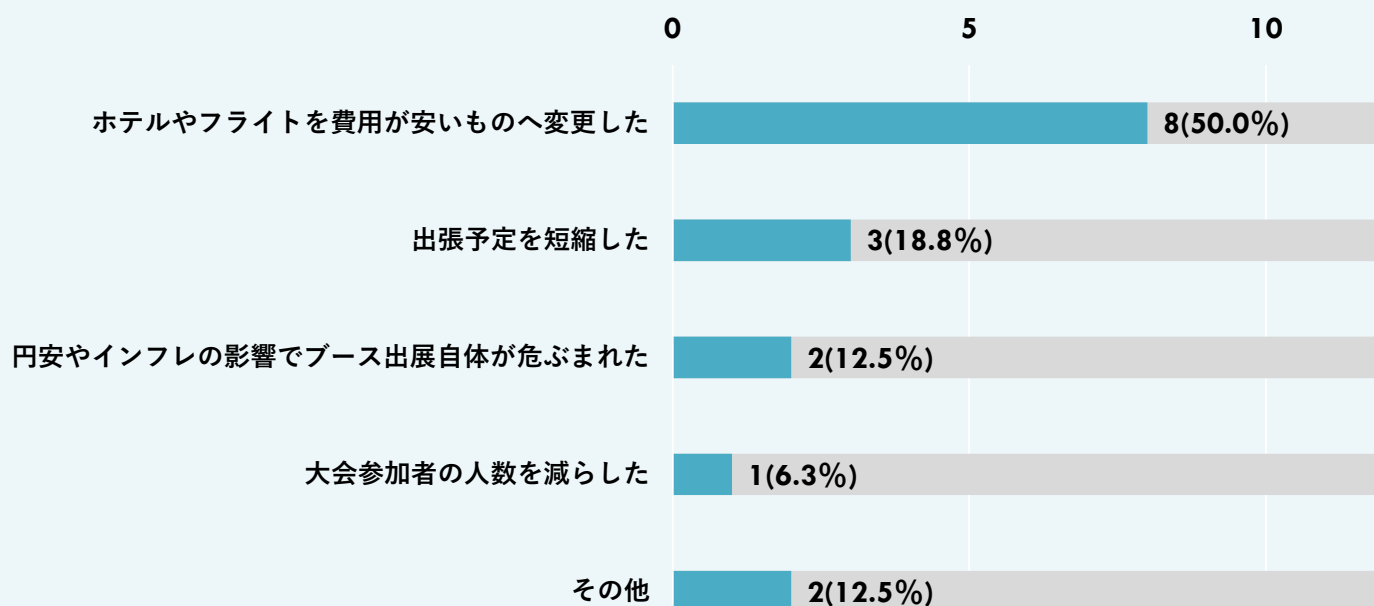
3-1. インフレ影響の有無（単一選択）

回答数=16



3-2. インフレ影響の内容（複数選択可）

回答数=12



【その他 内容】

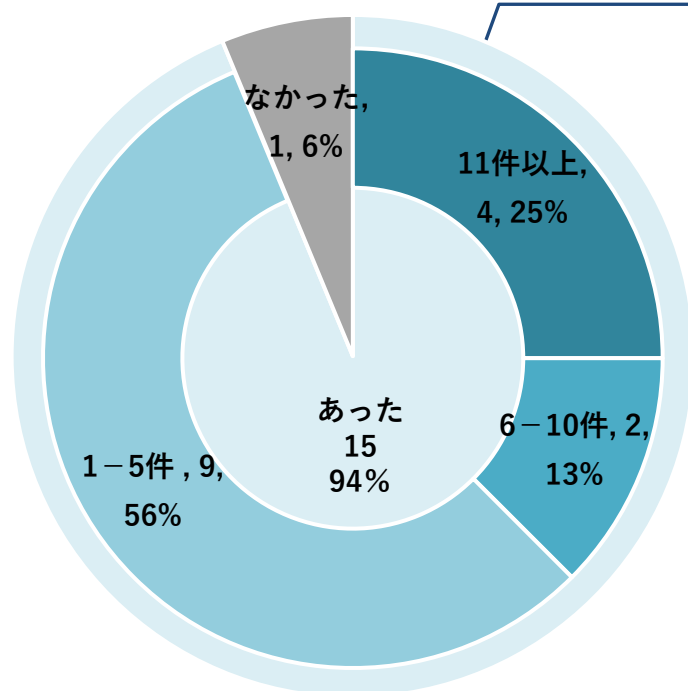
- 参加が効果的であることその他の理由としては、当室は職員の移動が続き国際会議経験者が減っている為、研修の目的もあったので高いけれど参加した。
- 宿泊費等を含む予算の増額申請を行った。

4

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

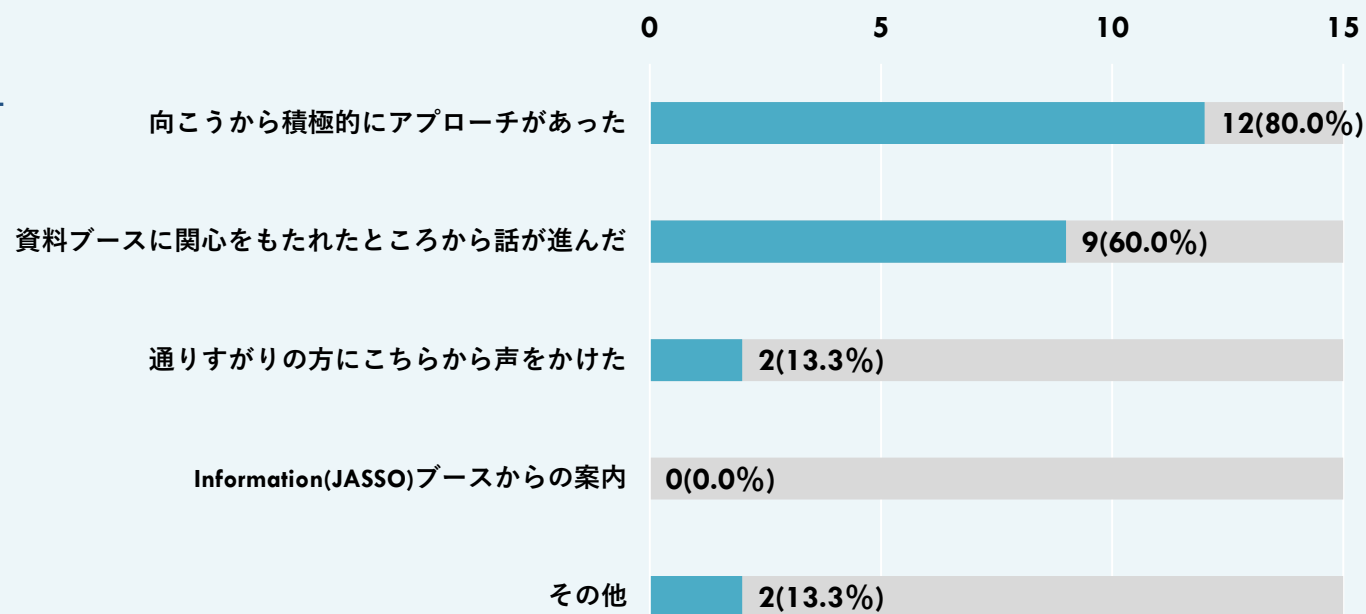
4-1. 飛び入りの打合せ件数（単一選択）

回答数=16



4-2. 打合せのきっかけ（複数選択可）

回答数=15



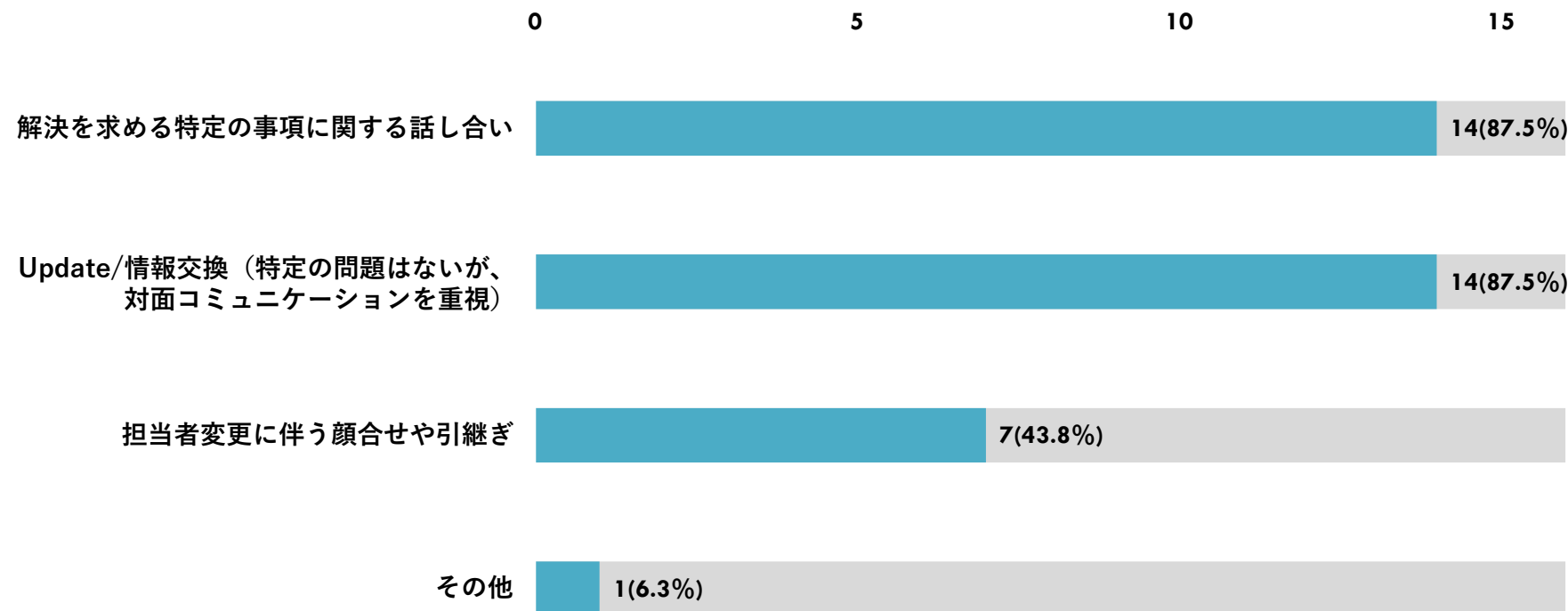
【その他 内容】

- ブースに立ち寄っていただいたところは多くありましたが、本学は今は新規協定より既存協定の活用や情報収集が主たる目的だったため、実際に打合せまで進んだ「飛び入りの打ち合わせ」は少数でした。
- アポがなかった協定校の方が立ち寄ってくれた。

5 既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか。

5. 既存協定校との打合せ内容（複数選択可）

回答数=16



【その他 内容】

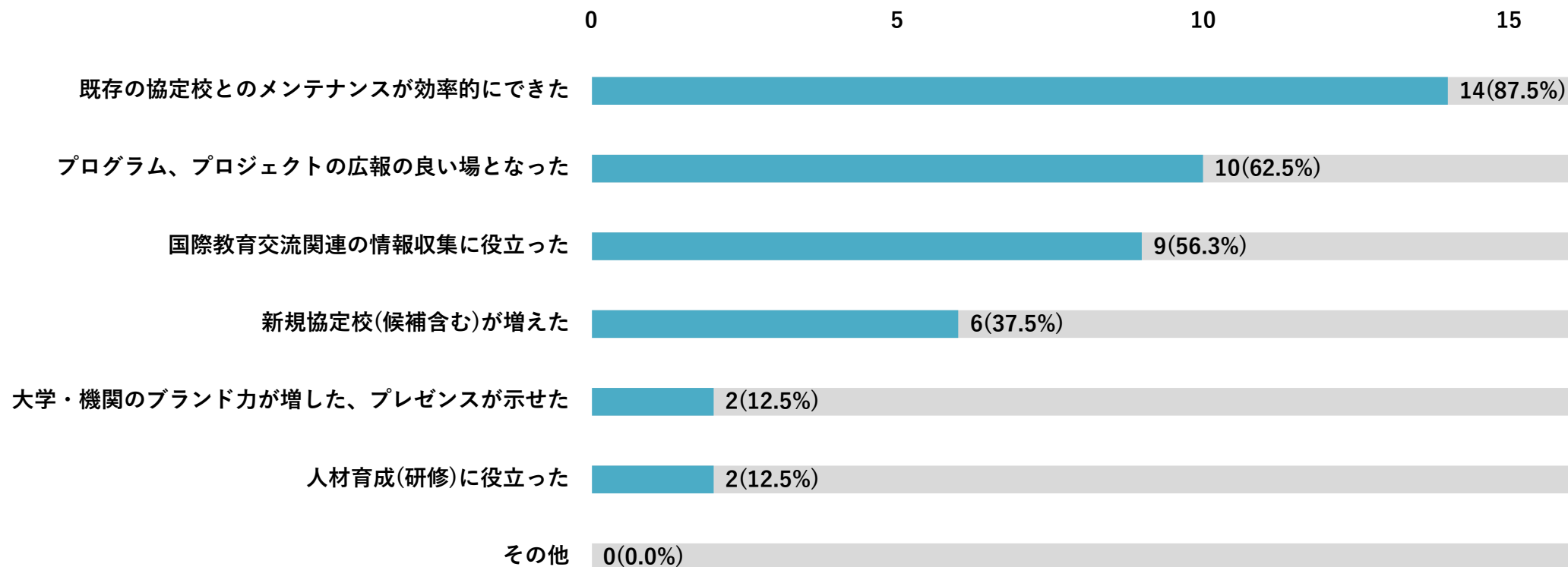
■ 特になし

6

出展した成果について教えてください。

6-1. 出展成果（複数選択可）

回答数=16



6

出展した成果について教えてください。

6-2. 成果の具体的な内容（自由記述）

回答数=13

- プロジェクトに対するサポート体制の確認等
- 今回はメンテナンスがメインだったが、これから相互に留学生の派遣を始めるため、前提条件の確認を改めて確実に行うことができた。
- 連絡先交換がたくさんできた。
- 新規協定に結び付く可能性のある面談を複数件実施できました。
- 語学要件の引き下げ、交換留学セレクション担当者が内部選考時の説明を協定校に行い、本学からの派遣学生の質の担保について信頼感を与えることができた。
- 既存の協定校については、具体的な取組の検討や協議も進めることができ、情報収集もできて大変有意義でした。また、今回EAIE初参加の2名にとっては、大変勉強になりモチベーションのアップにも繋がったようです。
- 新たにバルト三国や東欧の大学とのつながりを持つことができた、現協定校と近況報告や情報交換をすることができた、非協定校の短期プログラム等の情報収集をすることができた
- 既存協定校との最新情報および課題の共有ができた。
- ・新規協定校候補を、3~4校増やすことができた。
・これまで提携のなかったポルトガルの大学にアクセスすることができた。具体的な協定にまでは至らなかったが、ポルトガルの大学に学生派遣できるかどうかを考える上での情報を得ることができた。
- 協定校の担当者の入れ替わりが激しいため、新規の担当者に向けて本学の強みをアピールすることができた。協定校側の学生ニーズの情報を多く収集することができた。協定校の最新情報・状況の入手、懸案事項や不明点についての確認やディスカッションができた。
- 特定のプログラムの宣伝ができた。また、特定の協定校の担当者に会えた。
- 学生の派遣・受入の際の課題と対応について具体的に情報収集ができたこと。留学生対象の特別プログラムについて担当者に直接紹介することができ、参加者の受入につながったこと。交流の拡大について具体的な話し合いができたこと。
- メールでのやり取りではなかなか進捗しなかった問題について、対面で話すことで意思疎通が図れた。

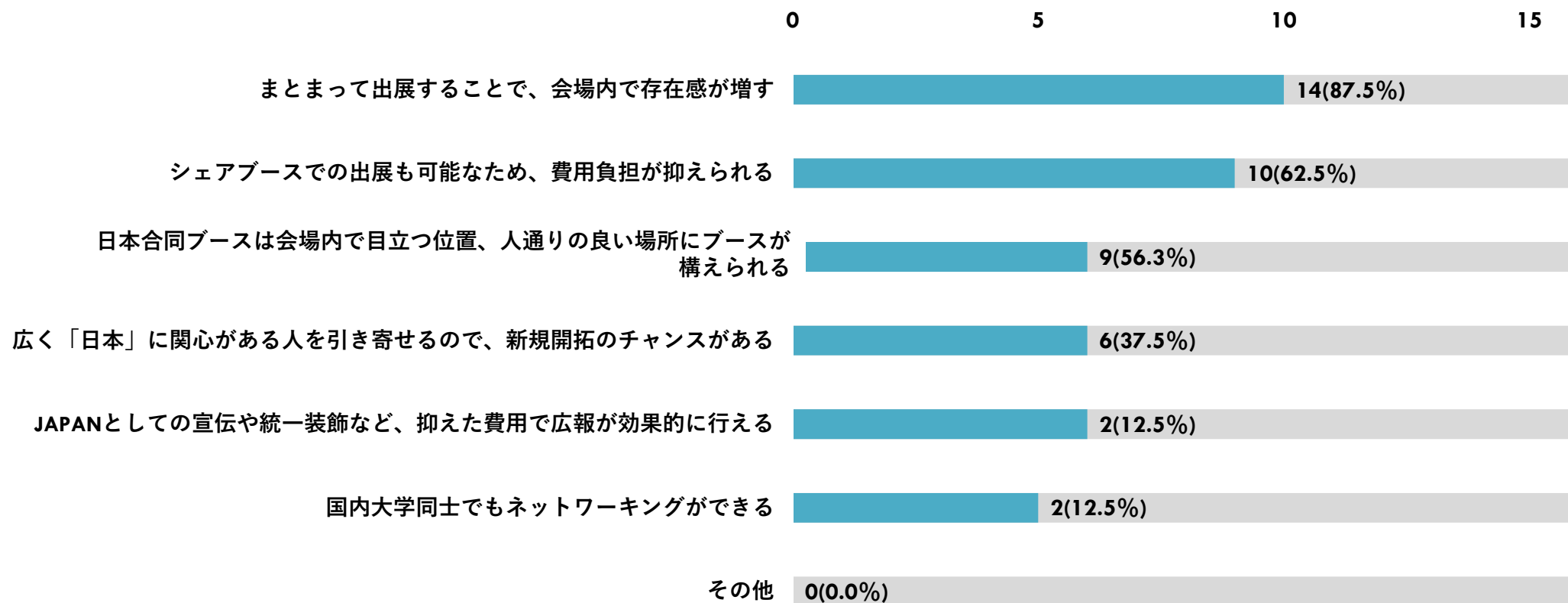
7

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、

「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

7. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可)

回答数=16



EAIE2024 トゥールーズ大会に 参加された感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

10. EAIE2024の感想・意見（自由記述）

回答数=12から抜粋

- 欧州の大学も予算不足が謙虚に感じられ、スタッフもマネジメント層から担当者層まで退職される方が増えてきており、思いがけず最後のあいさつになるケースが多い大会でした。今後の動向も要注視で、交流に影響がでないことを願っています。
- NAFSAもそうでしたが日本ブースは会場内の大変良い場所にブースを構えていただき、日本の存在感が大きくなってきているように感じました。
- EAIE2024の参加目的を概ね達成することができ、有意義な大会となりました。今回日本合同ブース内に出席させていただいたことで、より多くの海外の大学や機関から関心を寄せていただき今後の交流の可能性を広げることができたと思っております。会場全体を見ても日本合同ブースは中心部に近いこともあり、多くの人の目に留まりやすく恵まれた立地だったと感じております。
- 大会参加自体は非常に有意義だが、開催時期を考えると9月中旬は秋学期の準備等で厳しい時期にある。またAPAIEも年度末付近であり、EAIE、APAIEの参加は縮小の可能性を含め、参加の是非を今後考えていく必要があると考えている。
- 日本ブースで提携校担当者と打ち合わせをした際、先方が日本の桜の装飾がとても美しいとほめていました。
- 広く多様な参加者と知り合うことができ、参加した意義があった。
- 大会開催前から開催中まで、ご丁寧でこまやかなご案内を頂き、安心して参加することができました。